平成23年度から使用する日野市立小学校教科用図書の採択結果について

平成22年8月12日教育委員会定例会において、平成23年度から平成26年度まで使用する小学校教科用図書の採択を行いましたので、お知らせいたします。

種目	発行者
国語	学校図書
書写	光村図書出版
社会	教育出版
地図	帝国書院
算数	東京書籍
理科	新興出版社啓林館
生活	日本文教出版
音楽	教育出版
図画工作	日本文教出版
家庭	東京書籍
保健	学研教育みらい

（学校課）

平成22年度CRTの結果

CRTは、児童・生徒一人一人に確かな学力の定着と伸長を図ることと、各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすために実施しています。

日野市の結果は全国の平均を上回っています。今後の課題として、学習への関心・意欲を高め、基礎的・基本的な力の定着を一層図ることが必要です。また、各教科の学習で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等を活用して、問題解決を図るための考える力の育成にも、力を注いでまいります。

平成22年度　CRT（教研式標準学力検査）結果

		国語	社会	算数	理科
小4	日野市	73.4	77.4	76.1	80.2
	全国	72.4	74.6	76.0	78.2
中1	日野市	75.3	70.4	67.6	68.4
	全国	73.3	68.7	65.7	66.9

（学校課）

市内の郵便局から小学校にサッカーボールが寄贈

FIFAワールドカップ2010南アフリカ大会のスポンサーシップであったゆうちょ銀行から、市内の郵便局の窓口に展示されていた大会用サッカーボールを、小学校に寄付していただきました。

このボールは今年の6月から7月まで開催されたワールドカップの公式試合球「JABULANI」（ジャブラニ）のレプリカボールです。

『ジャブラニ』とは、南アフリカ共和国の公用語である、ズールー語で「祝杯」という意味です。

世界のトッププレーヤーが使用していたサッカーボールと同じボールにふれて、未来を担う子どもたちに、大きな夢を育んでもらう良い機会になればとの想いを込めて寄贈されました。

H22.8.18　京極小学校校長会長へ寄贈

（庶務課）

教員の夏季課題別研修会について

富士電機グループによる理科実技研修会

子どもたちの理科離れが言われていますが、日野市では、魅力ある理科の授業作りに向けて、様々な研修の工夫を行っています。先生たちの指導力を高め、子どもたちの自然や科学技術への関心につなげていくことを目指しています。

8月2日（月）、3日（火）には、日野市に工場のある富士電機グループの富士電機ホールディングス（株）基礎技術研究センター　松本　康部長に講師としておいでいただき、小学校教員を対象とした理科実技研修会を行いました。

2日（月）は、電磁石のはたらきに関わる研修です。モーターの原理を教わった後、消しゴムやクリップなどの身近な材料を使い、手作りモーターの作成に取り組みました。コイルの巻き方や回路のつなぎ方を変え、モーターを速く回す工夫を行い、理科実験のコツを学びました。また、様々な分野で使われているモーター技術についても教わりました。

3日（火）は、「電気を作る・ためる」をテーマに、手回し発電機を作成し、発光ダイオード（LED）と豆電球を点灯させ、LEDの優れた省エネの性質について学びました。参加した先生たちからは、「子どもの気持ちがわかった。実験の楽しさを子どもたちにも感じてほしい。」「いろいろ工夫してみることで、電気を流したり、作ったりする仕組みについて興味をもつことができた。身の回りで使われている技術についても知ることができた。」との声が聞かれました。

2日間で、延べ約40人の先生方に参加していただき、新学習指導要領で新たに追加される内容、移行した内容について理解を深めることができました。実験を通して味わった理科の楽しさを、先生方から、子どもたちに伝えていただきたいと願っています。

昆虫スキルアップ研修会

8月19日（木）に、東京都多摩動物公園において、昆虫スキルアップ研修会を行いました。この研修は、昆虫の行動観察や採集、飼育の方法を学びながら、主に小学校3年生の昆虫単元の授業展開で役立つ知識や、スキルの向上を図ることを目指しています。約20名の先生方が参加しました。

はじめに、大妻女子大学　石井　雅幸准教授と多摩動物公園岩淵　けい子動物解説員に解説していただき、昆虫生態園のチョウの行動観察をしました。また、昆虫ホールでは、飼育係の方から、卵、ふ化したての幼虫、脱皮を繰り返して大きくなった幼虫、さなぎ、成虫など、発育の段階に応じたチョウの飼育のポイントを観察しながら学びました。野外で採集したバッタやコオロギなどの仲間わけをしながら、口や羽などの特徴を注意深く観察し、少しずつ昆虫に詳しくなっていきました。

新学習指導要領では、自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行うといった従来の目標に、実感を伴った理解を図ることが加わっています。子どもたちは、昆虫の飼育という体験活動を通して、その成長を喜んだり、昆虫の活動の不思議さやおもしろさを感じたりします。

生命の連続性や神秘性に思いをはせたり、自分自身を含む動植物は、互いにつながっており、周囲の環境との関係の中で生きていることに気付いたりするような体験を通して、生命を尊重しようとする態度をはぐくんでいきたいものです。

日野市では、昆虫スキルアップ研修を春と夏に2回実施し、多くの先生方に参加していただく工夫をしています。また、小学校教員を講師とした理科実技研修会も8月に2回行い、先生方の理科実験の知識・技能を高めていただいています。

今後も、日野市の企業、施設等と連携しながら、理科好きな子どもの育成につながる教員研修を工夫してまいります。

（学校課）